



# 秩父病院だより

2013年春号 No.40



秩父病院スタッフ一同

## 開院2年の雑感

院長 花輪峰夫



平成25年3月8日、当院も移転後丸2年を迎え、記念にスタッフの集合写真を撮りました。全職員は優に1000人を超えました。

思い返せば、開院の3日後が東日本大震災でした。その時は、新しい病院の院長室で今までに経験したことのない揺れを感じていました。「あつ、崩れる！なんだ、これで終わりか、3日天下だったか」が、その時の心境でした。当院は荒川の河川敷を40m埋め立てた土地に建てたので、そう思ったのです。電子カルテをはじめ、オール電化システムの新病院で、いきなりの停電です。情報のないまま、様々な事が脳裏をよぎったことを覚えています。

この2年間、様々なことがありました。去る人、来る人、辛いこと、楽しいこともありました。病院の運営が概ね良好であったことは、『秩父妙見社』のご加護の故でしょうか、スタッフの努力と病院を支えてくれた多くの方達のお蔭でもありましょう。手術件数も増え、私もエンジン全開でやってきました。あつという間の2年でした。

建物は変わっても、「秩父の患者さん」が、秩父で十分な医療を受けられること」という当院の志は貫いているつもりです。しかしながら、「ならぬもの」もあります。残念ながら、25年度より、移転後倍に増やしていた平日夜間二次救急の担当を、スタッフ不足等により、

以前の体制に戻さなければならなくなりました。また『柞の杜クリニック』も休院せざるを得ませんでした。周囲の植栽は、順調に育っています。昨秋、カエデの木を整然と植え替えました。泰山木、枝垂桜、百合の木もだいぶ大きくなりました。芽吹き、開花、紅葉が楽しみです。池の金魚もあんなに大きくなるとは。作物の収穫も楽しみです。じゃがいも、トマトは職員食に供給できる程でした。赤い花の蕎麦、今年はずっとたくさん収穫でき、手打ち蕎麦として、多くのお世話になった方々、職員にも食べてもらうことができました。緑の環境が宜しいとの事で、県知事表彰を受けました。

最近、多少のパワー不足は感じますが、一方で、気持ちの高揚も感じています。それは「地域医療を担う医師を地域で育てる」という夢を持っていたからです。平成17年以来、当院に多くの若い先生達が初期研修医として来るようになりました。彼らが居るだけで私の気持ちも病院も活性化されていくのがわかります。その訳は、私の経験や技術を指導、伝授できるという自己満足。もう一つは、純粹で初々しい意欲に燃えた医師の姿を見て、私自身が忘れていた、若いときの新鮮な感動が呼び起されるからであると思います。今年に入り後期研修医の募集も始めました。この冬、病院の下を流れる荒川の少し下流に、白鳥が7羽飛来しました。何か良いことがありそうな予感があります。

※詳細は当院のホームページをご覧ください。

## 初期研修医の先生方が、学会発表をいたしました

当院で、地域医療研修をした、日本医科大学附属病院の青山純一先生と、埼玉医科大学病院の平田優介先生が、そろって第50回埼玉県医学会総会(平成25年2月24日開催)で発表しました。

それぞれ、当院研修中に担当医として経験した患者さんの症例を『画像検査でfree airを認めた腸管嚢胞性気腫の2症例』『地域における高次救急施設での加療を要する重症患者への対応の実情』という演題で発表しました。



▲青山純一先生

▲平田優介先生

### 青山純一先生

#### 「画像検査でfree airを認めた腸管嚢胞性気腫の2症例」



### 平田優介先生

#### 「地域における高次救急施設での加療を要する重症患者への対応の実情」



(さらに詳しい内容は、当院ホームページ「院長ブログ」をご覧ください)

# 連携医院のご紹介

## \* 井上皮膚科医院 \*

院長 井上 靖先生

当院は皮膚科専門の医院ですが、患者さんの苦痛(かゆみ、いたみなど)をできるだけ早く和らげ、キズアトやシミをなるべく残さないために、ただクスリを塗るだけの治療ではなく、「塗り方」の指導や日常生活の注意事項をはっきりとさせ、治療をするように心がけています。

特に乳幼児、高齢者ではスキンケアが大切であるため、生活環境や生活習慣のアドバイスを積極的にして、クスリだけに頼ることがないように指導しています。また、皮膚腫瘍、アザの診断と治療(手術、レーザーなど)にも力を入れており、必要に応じて往診もしています。秩父病院との連携は、昭和33年に当院初代院長井上久が、本町に開業して以来、50年以上お世話になっています。

当院では、「地元でできることは、地元で治療する」

ということをモットーに、患者さんが秩父の内で治療を完結できるように、常に最先端の皮膚科治療を取り入れて、診療をしています。



### プチメール

病棟の北側、晩秋には病室の窓より蕎麦の花が入院患者さん達の目を楽しませています。当院の蕎麦は赤い花の蕎麦です。

農家出身の当院職員が、丹精込めて育てました。昨年11月末に収穫、天日に干し(ハゼ)、昔ながらの方法で、こん棒(くるり)で叩いてムシロの上で実を落とし、趣味仲間の製粉のプロにひいてもらい、当院看護師のお父さんで、秩父でもおいしいと評判の蕎麦屋さんのご主人に打ってもらいました。お世話になった方々、職員に食べてもらいました。



## 医療法人花仁会 HUMAN COMMUNICATION 秩父病院

〒369-1874 埼玉県秩父市和泉町20番  
TEL. 0494-22-3022 (代表) FAX. 0494-24-9633  
ホームページ: <http://www.chichibu-med.jp>  
Eメール: [info@chichibu-med.jp](mailto:info@chichibu-med.jp)

**診療科目** 外科・内科・消化器外科・消化器内科・肛門外科・循環器内科・麻酔科・放射線科・肝臓内科・整形外科・形成外科・歯科・人間ドック  
一般健診: 随時受け付けております。お申し込み電話番号 (0494-22-3023)

**受付時間** 午前8:30~11:30 / 午後12:30~5:30

**診療時間** 午前9:00~12:00 / 午後 3:00~6:00

**休日** 日曜・祝祭日

はほそ もり  
<秩父病院分院> **柞の杜クリニック**

平成25年3月31日をもって休院となりました。

